

第 150 回 番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 令和 3 年 7 月開催予定でしたが新型コロナの感染拡大を危惧し、リモート開催。
審議委員 角替弘志委員長、望月紀久朗委員、小堺昭宏委員、伊藤公一委員、大塚 泰委員、
岡嶋基晴委員 の 6 名
エフエムしみず出席者 釜下賢一郎、佐野勝美、是永真由子

審議対象番組

開局 25 周年記念特別番組「Together to Tomorrow～豊かさへのパスポート～」

6 月 6 日(日)午前 10 時～午後 5 時放送

番組進行／田中章義(歌人・元国連親善大使)、夏木かおり他

番組出演／jam9、木戸なつみさん(静岡サレジオ高校)、鈴木惺海ちゃん(興津小校)、
池田都さん(就労継続支援ナナイロ)、マリンパルパーソナリティほか

<今回審議>

エフエムしみずの開局 25 周年のテーマは『感謝と SDGs』。これまで支えて頂いた事に対する感謝とこれから取組むべき課題でもある SDGs の現状と先進的取組みについて紹介。7 時間の特別番組を「感謝・私の BEST3」「SDGs 最前線」「身近な SDGs」の三部で構成しエスパルスドリームプラザで開催していた『Thanksgiving fes』会場からの中継を交えて放送。「感謝・私の BEST3」では、マリンパル開局時のパーソナリティが登場し、当時の思い出と感謝の BEST3 を披露。SDGs の情報では、昨秋日本に初登場したインクルーシブパーク、ウガンダ女性の生活向上に向けて起業した県内女性の取組み、農業と福祉を組み合わせた農福連携で成果を挙げている福祉施設、ゴミの不当投棄で汚れた川の保全に立ち上がり、見事川の浄化に成功した小学生の取組みなど SDGs の最前線から身近な情報までを紹介した。

新型コロナウイルス禍で、会議、出社、外出等の自粛の中、感染拡大を避けるため、番組審議会の会議は行わず、審議対象番組を CD に収録し、資料と一緒に各委員に送り、ご意見を夫々の委員よりメールにて送っていただきました。

角替委員長

・ 6 月 6 日、午前中、「Together to Tomorrow ～豊かさへのパスポート～」を聴いていましたので、当日放送されていた『Thanksgiving fes』会場の雰囲気などを思い出しながら、改めて、楽しく、わかりやすい、有意義な番組であったことを感じました。

・特に「感謝・私の BEST3」の部分では、夏木かおりさんの司会で、吉田真奈美さんはじめ発足時からの女性パーソナリティの方々が、思い出深い、楽しいお話を、懐かしい声で語られるのを聞き、同窓会的な雰囲気を感じながら、もう四半世紀も経ったのかという感想を抱いたことを思い起こしました。

・「SDGs 最前線」の部分は、放送では初めの部分しか聴いていませんでしたので、SDGs の意義を具体的に知る（理解する）良い機会になりました。田中章義さんの説明もわかりやすく聞きやすく、砧公園のブランコ（法月さんのニューヨークの公演のブランコの話を含め）の話を通して inclusive park の意義、「誰も取り残さない」ということの大切さを聴取者の方々に伝えることが出来たのではないかと思います。

・ただ、最近 SDGs に関する記事や報道等は多くなりましたが、SDGs の 17 の目標を含め、私もそうですが、誰もが SDGs について十分に理解しているとは思えません。エフエムしみずのホームページに SDGs の目標一覧表を載せ、折に触れ、放送でも「ホームページを見て SDGs に取組みましょう」というメッセージを伝えるのも良いのではないのでしょうか。

・「身近な SDGs」の部分は放送では聴いていませんでした。興津小の鈴木惺海さんの川の浄化を訴えるポスター話、家族や身近な方の対応を含めて感心しました。SDGs で求められているのは実践力なのだということが分かったような気がしました。

・「SDGs 最前線」「身近な SDGs」には、学校で教材として活用できる事例が沢山あると思います。教材として活用できるように再編集することも検討していただければと思います。

・コロナ禍の中、番組制作大変だったことと思います。分かりやすく、楽しく、充実した、未来を展望した番組になったことに敬意を表します

望月委員

25周年記念とはいえ、7時間に及ぶ長時間生番組を実施された皆様に賛辞をお送りします。

昔懐かしいパーソナリティの声も聴くことができました。

今回は SDGs もテーマの一つに加えられておりました。今暫くこの手の話題が COVID-19 同様続くことが想定されます。今回の放送を契機に継続的に「地域の小ネタ」を収集してみたいはいかがでしょうか。それぞれの活動の励みになるかもしれません。

相変わらず COVID-19 絡みで人寄せをする企画は殆ど頓挫しており状況が続いております。

地域の色々な団体がそれなりにこじんまりと活動しております。コミュニティ FM としてそれらの団体を紹介するような番組はいかがでしょうか。

以上

小塚 委員

- ・インクルーシブパークにつきましては、段差のない公園やニューヨークの状況などを紹介いただき、参考になりました。
- ・興津小学校3年生の鈴木さんのインタビューは可愛らしい凄く印象に残りました。環境保全のため、「不法投棄禁止」などの看板はどこにでもあるが、子供の純粋な気持ちが凄く感じるコメントのポスターは、社会全体に影響を与えることが良く分かりました。他の小学校の子供達が登場する電話インタビューコーナーをもっと増えさせていただければと思いました。

伊藤委員

「感謝・私の BEST3」

開局当時のパーソナリティだった吉田まなみさんがリモートで参加し、開局当時の思い出話などが聞けて良かったです。「私のベスト3」はCDの関係だと思いましたが、実際の音楽を聞くことが出来ずやや残念（年代が違うため1番と2番は知りません）でした。放送途中に雑音が入っていましたが少し気になりました。吉田さんからは開局当時の苦労話をもっと聞きたかったです。

[SDG s 最前線]

田中章義氏からインクルーシブパークについて紹介してもらいましたが初めて知りました。また、川崎きみお氏やニューヨークからのインクルーシブパークの現状を聞き、公園という概念を覆させられました。公園を通してSDGsの考え方を学びました。当JAもSDGs表明していますが、地域みんなが参加できる活動に取り組みたいと感じました。公園というキーワードは分かりやすいです。

「身近な SDGs」

興津小の鈴木さやかちゃんがごみの不当投棄を訴えたポスターの話は感動しました。小さな子供でもSDGs活動に参加できる事例を放送してたことによってSDGsの輪が広がっていくと思いました。声がとても可愛らしかったけど年齢が分かるともっと身近に感じます。

大塚 委員

開局25周年おめでとうございます。

今後とも地域のラジオ局として、市民、とりわけ清水区民の皆さまへの耳を楽しませる、あるいは、いざというときの情報収集手段として、ご活躍いただけることを期待しています。

番組内容ですが、前回の審議会の際に、「SDG s 達成を目指し取り組んでいる民間企業や個人の方

に、取り組んでみてどんなメリットがあったかということを取り上げていただけたらありがたい」というお願いをさせていただきましたが、さっそく、清水興津小の女の子との取組と、それが川の美化、しいては海を守ることに繋がっていることを取り上げていただき、ありがとうございました。今後も、こういった小さな取組が広がっていくことを期待しています。

岡嶋 委員

<開局 25 周年記念特別番組「Together to Tomorrow～豊かさへのパスポート～」>について

SDGs というテーマを身近な例に引き戻して、海外事例も交えながら紹介し、難しく考えることなくだれでも簡単に取り組みが出来るものとして紹介をしており、共感もてます。

このように社会問題や社会がかかえる課題を難しく捉えるのではなく、地域の身近な事例をもとに発信することはまさに地域FMの役割の一つと考えます。

<今後の特別番組>

□J リーグ中継

8/9(月)18:00～ vs 横浜 F マリノス、

8/13(金)19:00～ vs ガンバ大阪

8/25(水)19:00～ vs 鹿島アントラーズ

□清水みなと祭り情報～まつり仕事人～

8/23(月)～9/3(金) 午前7時40分～7時50分、 午後5時40分～5時50分 放送

次回番組審議会日程 9月中旬を予定
コロナウイルス禍の中、まん延防止対策、緊急事態宣言発令もあるため、次回も書面審議を予定

(了)